

平成24年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業
「小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成」

「腹部リンパ管腫及び関連疾患」分担研究班
平成25年度 第一回班会議
(第七回班会議)
議事録(案)

平成25年4月13日 10:00～11:30
福岡サンパレスホテル1Fラグーン

出席者

上野 滋(東海大学小児外科)
岩中 督(東京大学小児外科)
木村 修(京都府立医科大学)
木下義晶(九州大学小児外科)
住江正大(国立成育医療研究センター胎児診療科)
藤野明浩(慶應義塾大学医学部小児外科)
以上 6名

議事録

1. 前回議事録を確認しつつ進捗確認及び今後の方向性を確認した。

会議では胎児診断症例をピックアップするのに生後症例からのアプローチのみにすることが同意されたが、その後田口班全体会議で胎児診断の研究班(月森先生)の胎児診断調査の側からもピックアップできるので、協力する、ということになった。(月森先生にご連絡済み)

関連論文の調査は木下先生が進めている。

症例調査の項目についての検討が本日の議題の中心となる。

リンパ管腫の難治性診断基準を設けて、難病指定を受けるように働きかけたい(腹部のみでなく)。その際、他科との整合性(主に血管腫・血管奇形研究会を中心とした研究班)や患者会など患者の視点に立った確認などが必要となる。藤野が進める。

2. 各進捗状況報告と討議

・文献サーチについて

木下先生がすでに主な論文を確認済み。レベルの高い論文はなく、症例報告が多いことが認識されている。

調査対象の論文のピックアップは既にされており、論文チェック項目（資料5）に必要なと思われる項目を適宜追加しながら抄録内容をチェックする。5月の連休中に仕上げることを目標とする（木下）。その後テーマ毎に分類をして各班員に割り当てて論文を読んでもらう。

・症例調査項目について

前回までに挙げたClinical Questionsをもとに必要なと思われる調査項目をクリニカル・クエスチョンからアンケートへ（資料2）に記載したものを元に全体を通して討議した。（討議の結果を反映させた資料を添付ver. 4）

アンケートが出来たら、協力を依頼する施設担当を各班員の先生に分担する。

3. 次回会議日程

次回班会議は5月29日（水）12:00-14:00（評議員会の前）場所は未定（新宿）。

5月28日に田口班全体会議があり、研究進捗状況を報告する。全国調査の調査項目の設定がなされた状態にて呈示し、全体に調査協力の呼びかけをする。そこでの議論を反映させて5月29日班会議でまとめて調査へ進める。

配布資料

1. 第6回腹部リンパ管腫及び関連疾患班会議事録（電子ファイル）
2. クリニカル・クエスチョンからアンケートへ（電子ファイル）
3. 腹部リンパ管腫及び関連疾患調査シート（電子ファイル）
4. 前調査から新たな調査へ（電子ファイル）
5. 論文チェック項目（腹部リンパ管疾患）（電子ファイル）

以上

平成25年4月13日
慶應義塾大学医学部 小児外科
藤野 明浩